

28年ぶりにチンパンジーの赤ちゃんが誕生しました

令和8年7月31日(金)午前5時20分頃、チンパンジーの赤ちゃん1頭(オス)が誕生しました。
母親は「パンジー」、父親は「アツシ」です。

福岡市動物園でチンパンジーの赤ちゃんが生まれるのは、1998年以来、実に28年ぶりで、新たな仲間の誕生に、園内でも大きな喜びが広がっています。

当面は母子の健康と安定した成長を優先とするため非公開としますが、一般公開については今後の様子を見ながら検討する予定です。日程等の詳細は、ホームページでお知らせいたします。

今回の誕生によって福岡市動物園で飼育するチンパンジーは6頭となりました。

つきましては、市民の皆様への周知にご協力くださいますようお願いいたします。

<チンパンジーの赤ちゃんについて>

性別:オス

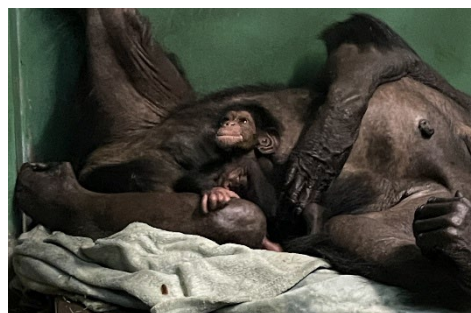
母:「パンジー」1998年8月20日 福岡市動物園生まれ(27歳)

父:「アツシ」1997年5月20日 長野市茶臼山動物園生まれ(29歳)

2023年5月17日に長野市茶臼山動物園から来園

<参考:チンパンジーについて>

- ・霊長目ヒト科
- ・生息地:アフリカ
- ・体長:1.4m 前後
- ・体重:50kg 前後
- ・平均寿命:40年~50年
- ・ワシントン条約:附属書Ⅰ
- ・IUCNレッドリスト:絶滅危惧IB類(EN)



赤ちゃん (8月1日撮影)



母「パンジー」(2025年11月撮影)



父「アツシ」(2026年4月撮影)